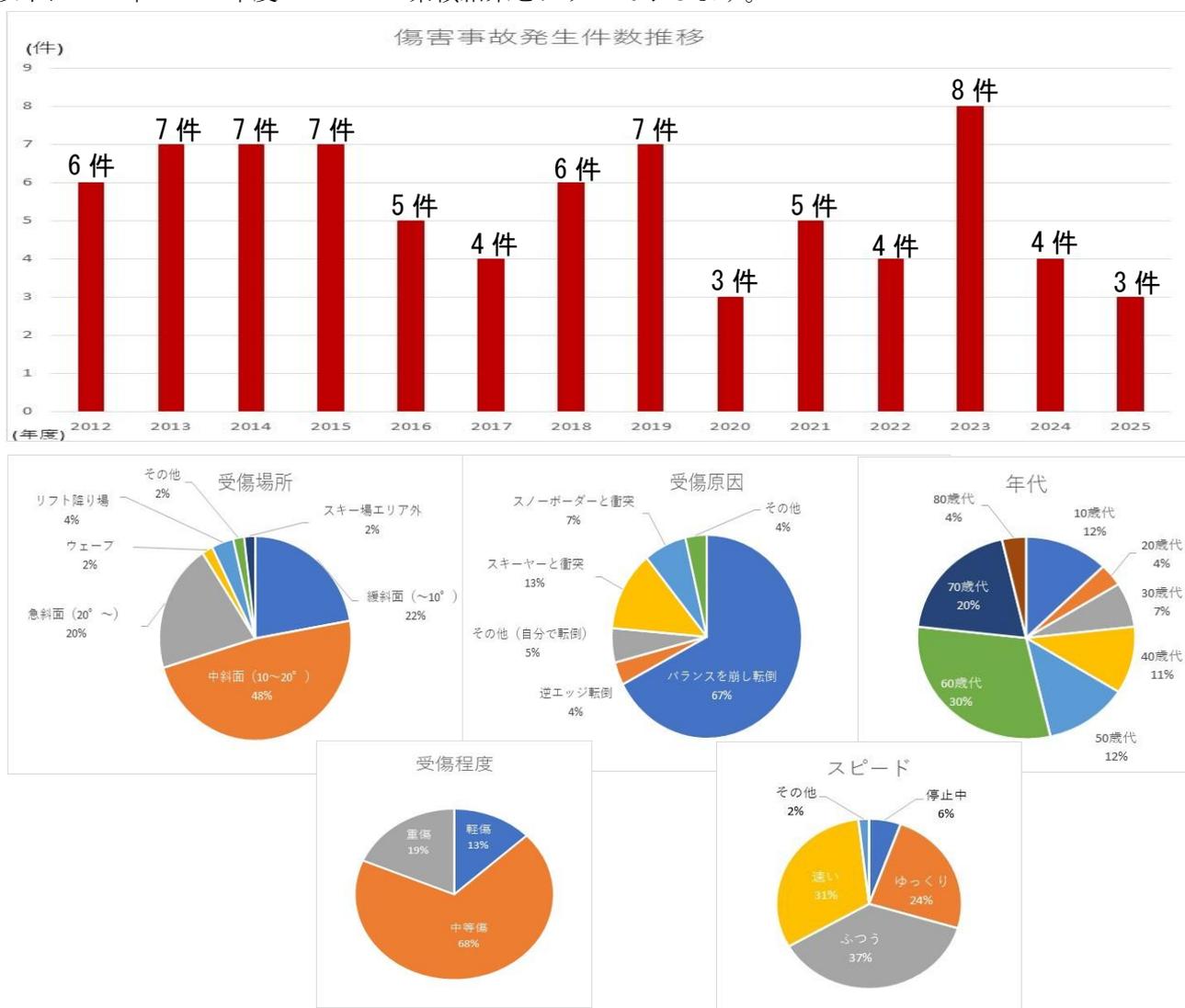


2025年度 茨城県スキー連盟調査 傷害事故報告書

‘25年度は県連所属56団体様から傷害調査報告をいただき、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。アンケート調査報告によると傷害事故の発生無 53件、受傷3件の結果となり、前年度対比で1件の減少傾向で推移しており、今後とも傷害事故防止にご協力いただけますようお願い致します。

まず、全国スキー安全対策協議会、富樫調査委員（県連副会長）による‘24/‘25シーズン スキー場傷害報告書2025（令和7）年2月1日～2月28日を纏めてられており、その特徴として、訪日される外国人の増加に伴い、外国の方が関係する事故が全体の1/4以上（28.6%）占める状況になっています。 良い傾向としてヘルメット着用率が向上していますが、欧米諸国の着用率に比べると、差があります。 ご自身や同行の方が未着用の場合は安全確保を最優先に着用を勧めただけいただけますようお願い致します。尚、報告書の詳細は、www.nikokyo.or.jp/pages/38/からご参照いただけます。

さて、‘25年度に所属団体様から報告いただいた傷害事故3件の概略状況を以下に報告致します。
 受傷内容：骨折(2名), 打撲(1名) 受傷場所：中斜面 受傷原因：バランスを崩して転倒 天候：曇り
 受傷部位：左下腿, 右ひざ, 左胸 行動(技能)：講習中(初級), トレーニング中(中級), 自由滑走中(中級)
 傷害保険：未加入(1名), 加入(2名) 受傷者の年代：10歳代, 50歳代, 70歳代
 以下に2012年～2025年度シーズンの累積結果をグラフで示します。



「生涯スノースポーツを安全に楽しむ」為にも、安全知識と全ての皆様が安全な行動を習慣化いただき、これからも安全にスノースポーツを楽しんでください。
 茨城県スキー連盟では、1981（昭和56）年度より所属団体の皆様にご協力をいただき、スキー傷害事故調査を行い、スキー傷害事故防止に役立てていただくことが目的です。
 今後とも情報のご提供を含め、ご協力いただけますようお願い致します。
 ※皆様から頂きましたその他、貴重な情報を茨城県スキー連盟HP、安全対策本部欄へ掲載致します。